

あり組での生活も残り1か月となりました。入園当初は、初めてお家の方と離れることに不安を感じて泣くこともあった子どもたちですが、今では自分から保育室に入ろうとしたり、自分の思いを喃語や言葉、仕草で表現したりと、一人ひとりが安心して過ごし、園での生活を楽しむ姿がたくさん見られるようになりました。近頃は人との関わりが楽しいようで、保育者の言葉や友だちの行動を模倣することを楽しみ、友だちが大きな声を出すと同じように大きな声を出したり、友だちが寝転がると一緒に寝転んでみたり、笑い合っただけで遊ぶ姿がとてかわいいです。散歩ではカラスを発見すると、友だちと顔を見合わせて「あ！」と指差したり、乗り物を見しながら楽しんで「しゅうしゅうしゃ！」「バイバイ」と声を出して、いろいろな発見や喜びを喃語や言葉、仕草で伝えようとしています。

生活面では、自分でしようとするが増えました。「ズボン脱ごうね」や「おむつぎゅっぎゅ」の言葉かけに、自分でズボンやおむつを持って着脱しようとしています。うまくいかない時には、保育者にズボンを渡したり、言葉や仕草で気持ちを伝えたりしながら意欲的に取り組んでいます。3月は春の自然に親しみながら、花や虫などを見つける喜びを保育者と一緒に味わい、ひよこ組への進級を嬉しい気持ちで迎えたいと思います。一年間、保護者の皆様と共に子どもたちの成長を見守り喜び合えましたこと、心より感謝いたします。



わらべうた絵本  
「おべんとうばこのうた」を  
読むと、「にんじんさん」「さくらんぼ  
さん」のところで、声を高くして一緒に  
「さん！」と嬉しそうに言う子どもたち。  
また、「あっぱっぱ」の絵本では、「あっ  
ぱっぱ〜」と言葉を真似するだけでなく、  
自分の頬をつねって絵本と同じ表情を  
楽しむ姿も見られ、保育者や友だちと  
顔を見合わせて笑い合っています。  
その愛らしい姿に保育室がやさしい  
笑顔に包まれました。

ひよこ組での生活も残り1か月となりました。進級・入園当初は不安そうにしていた子どもたちですが、今では身の回りのことを自分でしようとし、友だちとの関わりも増えて一緒に遊ぶ姿がたくさん見られるようになり、身体だけでなく心の成長もたくさん感じるようになりました。春頃は、避難車に乗って楽しんでいた大学構内への散歩も、今では友だちと一緒に手を繋いで歩く姿が見られます。また、グラウンドや芝生では友だちや保育者と体をたくさん動かして遊んでいます。中でも『しっぽとり』ではしっぽを取ったり取られたり、やりとりを楽しみながら過ごしています。

制作では、絵の具遊びやクレパスを使ってなぐり描きを楽しみました。友だちが楽しんでいる姿を見ると、「やりたーい！」という声がたくさん上がり、好きな色の画用紙や絵の具を選び、自分なりに表現しようとする姿にとても成長を感じました。

今月は、模造紙にみんなでローラー遊びを楽しみ、イースターの卵を表現します。一人ひとりの表現を大切にしながら過ごしていきたいと思ひます。保育室にどんな卵が飾られるのか楽しみにしててください。また、りす組への進級に向けて、トイレやランチルームを見たり、保育室で好きな遊びを楽しんだりして、少しずつ新しい環境に親しみ、嬉しい気持ちで進級を迎えられるようにしたいと思ひます。



突然、壁に背中をつけ、  
横一列にぴったりと並んだ  
子どもたち。一人の子どもが  
『ハッピーバースデー』の歌をうたうと、  
その様子を見た子どもたちが次々と  
一緒に歌い始め、最後はみんなで大合唱を  
していました。歌い終わると、「もういっ  
かい！」と大喜びで、一列に並んだまま  
保育者のウクレレに合わせて何曲も  
楽しそうに歌っていました。

神さまに守られながら過ごしたりす組での生活も残り1か月となりました。この一年の日々の生活の中で「自分でやってみよう」とする気持ちが育ち、上着のファスナーを閉めようと挑戦したり、スプーンを下から持って食べようとしたり、身の回りのことを自分から取り組もうとする姿が見られるようになってきました。日々の積み重ねが自信や意欲につながり、「先生できたよ！」と嬉しそうに伝えてくれる子どもたちの姿に成長を感じています。また、友だちが泣いていると「どうしたの？」と優しくたずねたり、「どうぞ」と自分のおもちゃを分けてあげたりなど友だちのことを思う姿も増えてきました。関わりの中で思いがうまく伝わらないこともありますが、保育者の仲立ちのもと、思いを言葉で伝え合うことで友だちの思いに気付いたり、言葉のやりとりを通して人とつながる嬉しさを感じたりして過ごしています。

今月はうさぎ組の保育室で遊ぶ機会をもち、進級後はどのようなところで過ごすのかを一緒に見たり、おもちゃで遊んだりしながら、少しずつ新しい環境に慣れ、進級を楽しみに迎えたいと思ひます。また、進級への期待や喜び不安など、一人ひとりの気持ちを大切に受けとめながら安心して迎えらるるよう丁寧に関わり、子どもたちとともに喜びを持って過ごしていきたいと思ひます。



わらべうたあそび  
『おちゃをのみにきて  
ください』を楽しむ中で、  
自然と口ずさむ子どもが増えて  
きました。誰かが歌いだすと「一緒に  
しよう」と、友だちと手を取り合っ  
てくるくる回ったり、挨拶をしたりして  
遊ぶ姿が見られます。友だちと向かい  
合った時に照れながらも、満面の笑みで  
楽しむ姿が何とも微笑ましいです。  
これからも友だちや保育者と歌ったり  
触れ合ったりする中で人と関わる  
心地よさや一緒に遊ぶ楽しさを  
感じていきたいと思ひます。